

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年8月23日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 8 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	換気空調系原子炉建屋給気エアフィルタ差圧計において、指示値不良(0kPa)が認められたため、当該計器を点検補修。	G	
2	1号機	タービン補機冷却系熱交換器(B)貝殻除去装置ブロー配管点検時、ゴムライニングに不良(膨れ)が認められたため、当該ライニングを補修。	G	
3	1号機	環境改善用冷凍機(A)の運転確認時、振動大及び第1段圧縮機側に異音が認められたため、当該冷凍機を点検修理。	G	
4	1号機	原子炉保護系インターロック機能検査(その2)において、模擬信号復帰(ケーブルリフト復旧)時、制御盤端子のネジ折損が認められたため、当該端子のネジを交換。	G	
5	2号機	格納容器内水素濃度計点検に伴う計器パネル操作時、エラー表示(入力信号異常)が認められたため、対応検討。(現在、指示値に問題なし)	G	
6	3号機	取水設備スクリーン装置点検用門型クレーンにおいて、動作不良(横行できない)が認められたため、当該クレーンを点検修理。	G	
7	4号機	主復水器連続洗浄装置ボール捕集器(C)差圧計において、指示値不良(マイナス表示)が認められ、検出配管の詰まりが考えられるため、当該計器の検出配管を点検清掃。	G	
8	4号機	換気空調系主冷凍機(C)起動時、起動回数異常の警報発生が認められ、起動回数制限カウンタの不良(定時にリセットされない)が確認されたため、当該カウンタを点検すると共に対応検討。	G	